

モンカダ兵営襲撃 60周年の年に

CUBAPON(クバポン)の活動も19年目となり、来年20周年を迎えます。発足当時のキューバの“特別期”(経済の困窮期)に「何か連帯出来ないか」として医療器具支援を開始しました。その後、16回の友好訪問団、ゲバラ没40周年コマダンシアタ登攀、日本人移民100周年イベント、5人の英雄解放のための100人委員会など活動を続け、現在、キューバ稲作支援プロジェクトを展開しています。

これらのCUBAPONの活動のためさる4月10日、代表が駐日マルコス・フェルミン・ロドリゲス・コスタ大使と懇談を行いました。



CUBAPONの代表(松矢、君島、鎌田)と駐日キューバ大使

■キューバ教育調査団報告(要旨)

記: 松矢文雄

はじめに、今回のキューバ調査訪問について現地訪問実施の労をとってくださったキューバ大使館、ICAP(キューバ諸国民友好協会)、また日程等の調整にご尽力いただいた日本キューバ連帯委員会(旅行社IFC)、レイコツアー(現地旅行社)、そして多忙の中、調査に応じていただいた学校の教職員と生徒の皆さんに、心からお礼を申し上げます。

3月3日、午後4時過ぎ、キューバの首都ハバナ「ホセ・マルチ国際空港」に予定どおりに到着。

3月4日、チェックアウト午前8時半。ICCPへ午前9時訪問。教育省の研究所であるICCPからキューバの教育システムの概略についてパワーポイントで説明、その後質問の応答。

午後3時40分、青年の島ヘロナ港に到着。通訳の上河よし子さん、日系人会の宮沢昇さん、現地コーディネーターのエステバンさんの出迎え。午後4時ホテル「ランチョ・デル・テソロ」に着いて、日程の説明。午後7時エステバンさんも合流して、夕食。迎えのバスが午後11時まで来ないので、部屋で懇親会を継続。

3月5日、朝8時半、ロビー集合。上河さん、宮沢さん、甥のマルシアルさんと出発、午前9時前にモデロ監獄跡博物館着。フィデル・カストロたちの収容跡、パノプティコン、日本人収容所跡などを見学。午前10時、稲作支援プロジェクト地区のフリオ・アントニオ・メジャの小学校訪問。

その後、フカロ地区の日系人コミュニティに寄り、原田さんたちをバスに乗せ、ヘロナで宮沢さんの奥さんタマラさんも同乗して、シロレンドの上河さんの村へ。

私たちは途中下車して地区の小学校を訪問。短時間ではあったが、校内を見学してから、上河さんのお宅へ。ご主人のエドワルドさんはじめ家族親戚、日系人会の方々が私たちを迎えてくれた。

この日、子豚の丸焼き(コチネージョ・アサード)を食べながら、稲作プロジェクトの日系人会の方々と交流懇親会を企画していたので約20名程に集まっていた。

ベネズエラのチャベス大統領死去のニュースをテレビで知る。彼らの悲しみの表情にキューバで慕われていたこと、政治的にも深い関係にあることを再認識する。

午後7時に上河さん宅に別れを告げ、ホテルに戻る。レイコ・ツアーからハバナ行きの飛行機が飛ばないと連絡が入り、翌朝船で戻ることになる。

なお、稲作プロジェクト地区に依頼していた子どもたちの絵画(7月27日のキューバ・フェスティバルVOL. 2で展示予定)を受け取りました。ご協力に感謝。

3月6日、朝7時チェックアウト、ヘロナ港へ。午前8時40分に出航、パタバナ港へ11時前に着く。マリオさんの出迎えを受け、車でハバナに向かう。車中、レイコ・ツアーからの連絡でキューバでは3日間チャベス大統領の喪に服することになったとのこと。

12時少し前に、コヒマール(「老人と海」の港)のレストラン「テレサ」

キューバフェスティバル Vol II

～モンカダ兵営襲撃60周年記念～
 2013年7月27日(土)
 坂戸市文化会館(埼玉県)
 (tel049-282-0100)

内容:

- I部 報告講演会 10:15～12:15
 - ◆キューバ教育調査報告
 - ◆キューバ稲作支援報告
 - II部 コンサート 13:00～16:00
 - ◆出演アレキサンダーLP&プーロス・アバーノス
- 入場料1900円(前売1800円)
 ※CUBAPONは後援しています。入場チケットを割引で斡旋しています。御連絡下さい。



に到着、昼食。ヘミングウェイの胸像などを見学して、ICAPへ。チャバス大統領の葬儀などで多忙中であったが、**アリシア副総裁**から歓迎とキューバ教育研究会の今回の調査訪問を含め今後の活動に期待している旨の言葉をいただいた。また「5人の英雄」救出の取り組みや国際連帯の活動について話された。私たちは、調査訪問に対する受け入れ、手配等に謝意を表し、調査の目的を伝え、さらなる協力を要請した。

3月7日、朝9時半出発。「ニコラス・エステバネス・ムルフィー」小学校訪問。ピオネールの代表による歓迎が用意されていた。チャバス大統領の服喪中ということでダンスと音楽は中止となり、ニコラス・ギリェンの詩を寸劇にして披露してくれた。就学前の学級から6年生までの授業を見学し、校長先生から学校の説明を受ける。約2時間半の訪問を終了し、レストラン「アルヒーベ」にて昼食。

午後3時、「マヌエル・ビスベ・アルベルニ」中学校へ。校長先生の出迎えを受け、校長室で学校概要の説明を聞く。授業は4時半までなので、教室を訪問、見学し、その後質問に答えてもらった。



午後5時に一度ホテルへ戻る。6時半にホテルにガイドのマリリンさんが迎えに来て旧市街のレストラン「フロリディータ」へ。食後ホテルに戻る途中、ベガード地区のジョン・レノン公園脇のマンションにお住まいの日系3世フランシスカさん宅を訪問（祖父の荒川伍平さんは熊本県出身で、1925年にシエンフェゴスへ一人で移住した）。マンションの屋上からハバナの夜景を眺望。午後10時過ぎにホテルへ。

3月8日、午前9時前に「エドアルド・ガルシア・デルガド」高校へ。若い校長先生（29歳）に入り口で出迎えを受け、ホールへ。椅子に座ると女生徒から一人一人にカードのプレゼント。カードには「すべての女性は素晴らしいと言われるべきだーホセ・マルティ」と書かれていた。その日は「国際婦人デー」で、キューバでは女性にカードなどを渡す習慣があるとのこと。

はじめに校長先生から学校の説明。芸術へのアプローチで学習したことを生徒たちが発表してくれた。その後教室訪問。話を十分に聞けなかったが、予定の時間（10時）を過ぎたので残念ながら打ち切らせてもらって、教育大学に向かう。

10時半教育大へ。この**教員養成大学**のシステムについて説明。キューバの教育の中には大切な原理がある、それは、差別なしですべてをカバーしていること。性別、年齢、人種差別はない。また、一人一人の才能を開発し発達させること。それからキューバの教育のもう一つの目的は価値教育。この教育は小さい子どもから大学まで行われている。ただ今の世界の状態やキューバの状態は、いろんな面で子どもたちに影響を与えているので価値教育の内容を改善する必要があるとのこと。

12時近くになったので子ども教育学部の教室へ。ここではビデオ撮影は許可されず、写真のみ。授業は10人ほどで卒業後に教師になるための準備等について話し合い。見学はここだけで、その後は質疑応答。キューバの教育学の基本になっているのはまずホセ・マルティ、カストロの教育に対する考えである。

午後2時半、「ホセ・アントニオ・エチェベリ」工科大学へ。かなり大きな敷地の大学である。ここは唯一技術（エンジニアと建築家になるための）だけを扱っている、キューバでも特別な大学。

約2時間の訪問を終え、午後5時にホテルへ一度戻る。少し休息をとって、午後7時に是永邸（レイコツアー事務所）へ。予定では小中の先生方との懇談会を計画していたのだが、服喪中で交通やその他の事情で参加できなくなり、ICAPのアリシア副総裁、リゴベルト夫妻、オバリ夫妻、そして是永さん夫妻、通訳のスサーナさん、ノエルさん、途中からエステバンさんとの交流夕食会となった。

3月9日、全日市内観光。革命広場、ホセ・マルティ博物館、旧市街、ゲバラ博物館など。

3月10日、この日からサマータイム（1時間、時計を早める）に切り替わる。午前3時半ロビー横のバーで軽食。チェックアウト後、4時空港へ。4時半搭乗手続き、ガイドのマリリンと別れて、中へ。定刻の午前7時に「ホセ・マルティ」国際空港を離陸。トロントで乗り継ぎ、成田へ。

3月11日午後3時、成田空港に無事到着し解散。（詳細報告はキューバ教育研究会発行の報告書をお求め下さい）

教育省のICCPにて



CUBAPON12年度収支(12年度6月1日~13年度5月31日)		
支出		
会報印刷代	33,495	41号、42号、
その他印刷代	29,769	チラシ、封筒、資料
送料	66,570	会報、封筒など
会費等	3,080	
行事費	123,000	スリランカ会議参加
資料費	17,884	カリブ社会主義買取等
11借入金返済	6,398	11年度分IFCCへ
計	280,196	
収入		
会費	132,000	44人
カンパ	13,000	5人
稲作支援連絡手数料	29,685	稲作プロジェクト/団体
稲作支援打合諸費分担	61,500	稲作プロジェクト/個人
12借入金	44,011	IFCCより
計	280,196	

キューバ米自給支援プロジェクト支援カンパ収支(個人カンパ)		
収入	204,000	11年度協賛金 25人
	192,000	12年度協賛金 33人
	144,000	13年度協賛金 26人
	165,000	団体協賛基金より繰入(11年度)
計	705,000	
支出	130,921	報告集1号、2号、3号印刷
	38,100	報告集送料累積
	84,798	12年度まで連絡、通信費
	165,000	12年度協賛金
	61,500	翻訳代(11年度)
12,000	12事業推進会議等	
12,000	12資料代(訪問報告書)	
計	492,319	
残	212,681	
※現地へのポンプ、ホース等の支援物資、技術者派遣経費補助は団体協賛基金より支出		
2013. 5. 31 現在		

CUBAPON(クバポン)活動協賛のため会員会費登録(年:3000円)に御協力下さい。